鳥羽商船高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	情報リテラシー２

科目基礎情報

科目番号	0043	科目区分	専門 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	情報リテラシー教科書　Windows8/Office2013+Access対応版 矢野文彦監修 オーム社 / 必要じ応じて資料を配布		
担当教員	小川 伸夫		

到達目標

1.情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用できる。
2.コンピュータのハードウエアとソフトウエアに関する基礎的な知識を理解し活用できる。
3.インターネットの仕組みを理解し実践に使用できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用できる、かつ応用ができる	情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用できる	情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用できない
評価項目2	コンピュータのハードウエアとソフトウエアに関する基礎的な知識を理解し活用でき、かつ応用ができる	コンピュータのハードウエアとソフトウエアに関する基礎的な知識を理解し活用できる	コンピュータのハードウエアとソフトウエアに関する基礎的な知識を理解し活用できない
評価項目3	インターネットの仕組みを理解し実践に使用でき、かつ応用ができる	インターネットの仕組みを理解し実践に使用できる	インターネットの仕組みを理解し実践に使用できない

学科の到達目標項目との関係

教育目標 （B1）

教育方法等

概要	この教科の目的は、情報リテラシーIに引き続き、コンピュータという道具の仕組み、使い方を学ぶことと、インターネットの仕組みとそのサービスの使い方を理解することである。また、情報セキュリティについても学ぶ。２時間続きの授業の中で講義と演習を行う。講義では、コンピュータを使う上で知らなくてはならない用語を取り上げ解説する。演習では、タイピング、インターネットのサービスの利用法、プログラミング、プレゼンテーションソフトを教科書の例題を解きながら行う。タイピングは、目標の速さで入力できることを課題にする。授業中作成したファイルは評価する。 この授業を受けることで、インターネットから情報を収集する、発信するスキルを獲得できる。
授業の進め方・方法	・ 授業は講義＋演習形式で行う。 ・タイピングは、毎回練習の時間をもうけ、定期試験前に記録をとる。 ・授業中で作成したファイルは提出する。
注意点	・タイピングの練習などを毎日行える環境を整えることが望ましい。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	インターネットの仕組みと各種サービスについて	インターネットの仕組みを理解できる。 各種サービスを理解し、使用の場合の注意事項がわかる。
		2週	インターネットの仕組みと各種サービスについて	できる。 各種サービスを理解し、使用の場合の注意事項がわかる。 分かりやすく情報を伝えることができる
		3週	インターネットの仕組みと各種サービスについて	各種サービスを理解し、使用の場合の注意事項がわかる。
		4週	インターネットの仕組みと各種サービスについて プログラム言語について	各種サービスを理解し、使用の場合の注意事項がわかる。 プログラミング
		5週	プログラム言語について	プログラミング
		6週	プログラム言語について	プログラミング
		7週	中間試験	
		8週	試験の解答と解説 プログラム言語について	プログラミング
	2ndQ	9週	プログラム言語について	プログラミング
		10週	プログラム言語について プレゼンテーションソフトの利用	プログラミング テーマに沿って構成を考えられる
		11週	プレゼンテーションソフトの利用	テーマに沿って構成を考えられる
		12週	プレゼンテーションソフトの利用	テーマに沿って構成を考えられる
		13週	プレゼンテーションソフトの利用	分かりやすく情報を伝えることができる
		14週	期末試験	
		15週	試験の解答	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	4	前1,前2,前3,前4

				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	2	前1
				同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在しうることを知っている。	2	前4,前5,前6,前8,前9
				与えられた基本的な問題を解くための適切なアルゴリズムを構築することができる。	4	前4,前5,前6,前8,前9
				任意のプログラミング言語を用いて、構築したアルゴリズムを実装できる。	4	前4,前5,前6,前8,前9
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	1	前1
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	4	前1
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	1	前1
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	2	前1
専門的能力	分野別の専門工学	商船系分野(航海)	情報処理	電子メールの使用設定や使用方法を説明できる。	4	前1,前2,前3
				プレゼンテーションソフトウェアの基本的な使い方を説明できる。	2	前10,前11,前12,前13
				プログラム言語の利用法について説明できる。	2	前4,前5,前6
				いろいろなコンピュータの利用について説明できる。	3	前4,前5,前6
				通信の原理について説明できる。	2	前1,前2,前3,前4
				インターネットを用いた情報の検索ができる。	4	前1,前2,前3,前4
				プレゼンテーションソフトを利用し、プレゼンテーションの資料を作成できる。	4	前10,前11,前12,前13
				コンピュータを用いたデータ処理方法について説明でき、簡単なデータ処理ができる。	4	前4,前5,前6,前8,前9,前10
		商船系分野(機関)	情報処理	電子メールの使用設定や使用方法を説明できる。	3	前1,前2,前3
				プレゼンテーションソフトウェアの基本的な使い方を説明できる。	3	前10,前11,前12,前13
				プログラム言語の利用法について説明できる。	2	前4,前5,前6
				通信の原理について説明できる。	2	前1,前2,前3,前4
				インターネットを用いた情報の検索ができる。	4	前1,前2,前3,前4
				プレゼンテーションソフトを利用し、プレゼンテーションの資料を作成できる。	4	前10,前11,前12,前13
				コンピュータを用いたデータ処理方法について説明でき、簡単なデータ処理ができる。	4	前4,前5,前6,前8,前9,前10

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	5	0	45	100
基礎的能力	30	0	0	5	0	45	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0